# 12課「病気・けが」

#### く行動目標>

体調について友達や周りの人と簡単に話すことができる。また、病院で簡単なやりと りをすることができる。

#### <3 つのスモールトピック>

ST1「体の調子」

体調が悪くなったとき、症状を簡単に話して早退を申し出たり欠席の理由を 言ったりすることができる。

ST2「アドバイス」

体調がよくない友達にアドバイスをすることができる。

ST3「病院で」

病院で簡単に症状を話したり医者の指示を聞いたりすることができる。

#### 話してみよう

外国で具合が悪くなったときは、とても心細いですね。できれば毎日、何事もなく、元気 で過ごしたいものです。 1 2 課のテーマは「病気・けが」です。

【話してみよう】では、イラストや写真を見ながら、これから始まる課のテーマに学習者を導いていく役割を持っています。12課のテーマ「病気・けが」から、学習者の生活を聞ききながら、【聞いてみよう】につなげていくこともできますが、デリケートな話題でもあるので、学習者の背景に配慮しながら、話を進めていっていただきたいと思います。『できる日本語教え方ガイド&イラストデータ CD-ROM』の p. 76 に質問例があるので、その質問を参考にしてみてください。

ここでは、右のイラストを使ったやり取りを見ていきます。

T:ここはどこですか。

L1:病院です。

T : そうですね。(右の2人を指して)この人たちは何をしていますか。

L2:友達が病気ですから、会いに来ました。

T:そうですね。日本語で「お見舞い」といいますね。

L2:おみまい…お見舞いに来ました。

T : そうです、そうです!

L1:先生、日本でお見舞いのとき、何を持って行きますか。

T:そうですね。花や果物などを持って行きます。



L1さんの国でお見舞いに行くとき、何を持って行きますか。

L1:同じですね。

L2:先生、私は病院に住みました。

T :え?

L2:国でオートバイとオートバイが (ジェスチャーで示す)、私はこれ (ジェスチャーで示す) …

T : えー、L2さんはオートバイの事故でけがをしたんですか。大変でしたね。 (「事故」「けがをする」板書する)

今、皆さんは日本で勉強していますね。けがや病気のとき、大変ですね。

L1:はい、日本語がわかりません。

T: ああ、大丈夫ですよ。でも、ちょっと心配ですね。じゃ、CDを聞きましょう。 今日、パクさんはどうですか…(と言いながら、CDを流す)

12課の【話してみよう】のイラストをきっかけにして、学習者の話を聞いてみてください。やり取りの中から学習者自身の話がいろいろ出てきます。【話してみよう】のねらいは、テーマに学習者を引き付けることと、それまでに学んだ日本語を用いて話すことにあります。教師は学習者が話せるように促したり、他の学習者に質問をしてもらったりしてください。

#### 聞いてみよう

【話してみよう】が終わったら、【聞いてみよう】に移ります。CDを聞くときには、学習者に聞くことに集中してもらいましょう。12課の【聞いてみよう】は病院の受け付けでざわざわしている音が入っているので、学習者はこの音を頼りに、会話がどんなところで行われているかがつかめると思います。CDを聞いたあとで、大体の流れをつかみ、ST1に入っていってください。

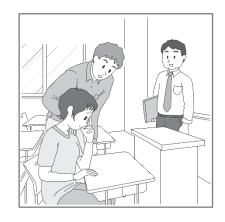
#### ST1 体の調子

できること:体調が悪くなったとき、症状を簡単に話して早退を申し出たり欠 席の理由を言ったりすることができる。

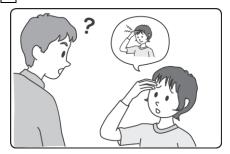
### チャレンジ!

#### 状況イラスト:

調子が悪そうなパクさんを見て、ダニエルさんが 心配して話しかけました



#### 1-1



コマイラスト: いつも元気なパクさんが今日は様子が違います。ダニエルさんが心配して、話しかけています。

これまでの課にも何度か書きましたが、【チャレンジ】では、状況イラストから入っていって、この会話がどのような状況で行われているのかを学習者と一緒に見てから、コマイラストに入っていきます。

ここでは、まず状況イラストで、パクさんの様子に注目してください。それから、いつもとは違う様子に気がついたダニエルさんが何と声をかけるか、またそれに対してパクさんがどのように答えているかが、学習者が「~んです」が使われていることに気付くポイントになります。病気の友達を心配して、「どうしたんですか」(興味関心)と質問して、「頭が痛いんです」(理由・事情説明)と答えています。ここでは、「んです」を体調の話題に限定して使っています。それ以外は、初中級3課「私の目標」ST2「夢に向って」で提出されています。

学習項目 どうしたんですか ~んです

# 言ってみよう 別冊1

普通形は 11 課の ST3 の中で練習しました。「~んです」の前は普通形ですが、ナ形容詞と名詞は注意が必要です。「ナ形容詞・名詞」の「です」が「んです」に接続する際、「~だ+んです」ではなく、「~な+んです」になることに注意が必要です。普通形への変換に時

間がかかる学習者がいると思います。ここにあるキュー以外で口慣らしをしてから、この別冊のキューでの練習に入ってもいいでしょう。

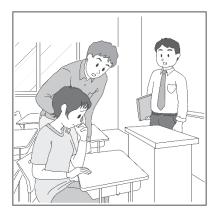
言ってみよう

本冊1-1

# チャレンジ!

## 1-2





コマイラスト:頭が痛いパクさんは、本田先生に早退を申し出ています。本田先生は心配そうにパクさんの話を聞いています。

【チャレンジ!】1-1では、クラスメイトとのやり取りでしたが、1-2では先生に早退を申し出るために、パクさんが自分の今の状態を説明しています。パクさんの1つ目の吹き出し「早く帰ってもいいですか」の「~てもいいですか」は 10 課 ST2 の1 で既出の学習項目です。【チャレンジ】の際に、ぜひ学習者から言ってもらいましょう。

学習項目 どうしたんですか ~んです

# 言ってみよう 本冊1-2

例にある「あのう、先生、早く帰ってもいいですか」の「早く」はここでは、新出語彙扱いとなっています(初中級 7 課 ST2 の 1 で形容詞の副詞的用法が提出されています)。ここではキューが 2 つだけですが、学習者に合わせてキューの内容をアレンジしてください。例えば、A の「帰ってもいいですか」のほうは変えずに、体調が悪いことを言うバリエーションを増やすことができると思います。下記のようなキューを用いて練習したらいいかと思います。

早く帰ります/おなかが痛いです

早く帰ります/気持ちが悪いです

先生が言っている「それはいけませんね」は、相手のことを「大変ですね」と心配している 気持ちを表しています。例を見るときに、意味の確認をしてください。

これは留学生のクラスではなく、海外 で社会人学習者が勉強しているクラスで 実施した例です。

仕事や家庭の理由で授業をお休みする人もいるので、そんなとき日本語でその休みの理由を言えることも日本語の練習になるかと思いました。

これは、教科書の練習のあとに、例)の やり取りをちょっとアレンジしてみた

1-2 4

A : あのう、先生、今日、日本語の授業を休みたいです。』

先生:どうしたんですか。↓

A:朝から体の調子が悪いんです。

先生: | それはいけませんね。お大事に。 。 それは大変ですね。わかりました。 。

それはいいですね。いってらっしゃい。 +

例) A:今日/朝から体の調子が悪いです。

① A:来週/国へ帰ります。

② A:今日/仕事が終わりません。

③ A:来週/残業があります。

④ A:今日/風邪をひきました。

練習です。本来はここでは体調が悪くなったときに、その症状を言うというのがここのゴールですが、先に書いたように、私が担当しているクラスには、仕事をしている人もいるので、その人たちが言えるような内容もあったらいいと思い、このようなキューを考えました。また、先生役になる人には、Aの日本語を聞いて、適切な応答ができるような日本語を選ぶように指示しました。

### チャレンジ!

#### 状況イラスト:

昨日、パクさんはアルバイトを休みました。 次の日、アルバイト先で同僚に話しかけられました。



# 1-3





コマイラスト:パクさんがお店に行ったとき、お店の同僚に話しかけられました。パクさん は昨日、どうしてアルバイトを休んだか話しています。

1 の学習項目「どうしたんですか」「~んです」は、学習者はすっかり慣れてこのコマイラストを見て、上手に言うことができると思います。2 コマ目のパクさんの吹き出しにある

「薬を飲んで、たくさん寝ました」の「 $\sim$ て」は9課ST310での学習項目です。学習者が思い出して使えるように、教師が促してください。

学習項目 どうしたんですか ~んです

# 言ってみよう 本冊1-3

「熱があるんです」や「頭が痛いんです」などと間違える学習者が多いようです。体調が悪かったのは、「昨日」の話で、今は元気になっているので、「熱があったんです」や「頭が痛かったんです」になります。学習者が間違えたとき、どうしてそのように間違えてしまったのか、理由を考えて、その部分を指摘してあげることができるといいですね。

#### やってみよう

- 外国で具合が悪くなったとき、誰かに気遣ってもらえるのは心強いことです。日本語で相手が気遣えるようになってほしいなという著者の気持ちが込められている会話です。ワンさんやパクさんがクラスメイトを心配して話しかけています。聞いたあとで、CDの中で、どんな日本語が使われていたかに注目をしてください。1では、アンナさんが元気のなさそうな声で「窓を閉めてもいいですか」と言っています。「頭が痛い」と言ったアンナさんに対して、ダニエルさんはどのような言葉をかけていたか「薬がありますよ。この薬、飲んでください」と勧めている言葉などに注目することができると思います。2では、パクさんが「薬を買ってきましょうか」と言っていることなどに注目してください。
- 絵を見て、ペアで話します。このまま教科書を見ながら練習してもいいですが、イラストをバラバラにして、順番を考えてから会話を考えるという方法も考えられます。ペアでの練習よりも、3人グループで、先生とAさん、AさんとBさんと役割を決めて会話を考えたほうが、リアルになると思います。会話を発表をする際には、拡大イラストがあると、みんなが前を見ることができるし、アフレコみたいな感じを出すことができます。

話したあとに、このようなシートを作成しました。授業では会話を書いて、教師に提出するようにしました。こうすることで、正確性も高められることになります。

第 12課 ST1 やってみよう↩	
€	
3.	
▶洗の首↔	et
龍首 草(4)	
39.0	
Marie	
	- e
	4
	×I

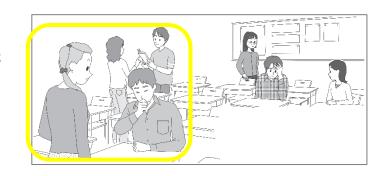
### ST2 アドバイス

できること:体調がよくない友達にアドバイスをすることができる。

## チャレンジ!

#### 状況イラスト:

教室に体調が悪そうなクラスメイトがいます。心配して話しかけています。



#### 1 - 1





コマイラスト: ダニエルさんが咳をしています。それを見たアンナさんはダニエルさんに早く家に帰るようにアドバイスをしています。でも、ダニエルさんは今晩友達と約束があるので、休めないと言っています。

この【チャレンジ】では、状況イラストで、咳をしているダニエルさんに注目をしてから、コマイラストに入っていってください。いつもは元気なダニエルさんですが、今日はいつもと違うようです。それを心配したアンナさんが、ダニエルさんに話しかけています。アンナさんの最初の吹き出しの内容は、すでにST1で練習した「どうしたんですか」なので、きっと学習者はスムーズに発話できると思います。最後のアンナさんの吹き出しでは、友達が風邪をひいたと聞いたとき、どんな気持ちで何を言うかということを言いながら、吹き出しの中身を考えてみるようにしてください。

「どうしたんですか」のあとの、「風邪」の吹き出しの日本語は「風邪なんです」(名詞+んです)と言っても、「風邪をひいたんです」(動詞+んです)と言ってもどちらでもいいと思います。スクリプトに書かれているのが「風邪をひいたんです」だからと言って、絶対にこれを言わなければならないということはありません。どちらでも正しく言えるようになったらいいと思います。

「名詞です」が「んです」に接続する際に、「な」を用いるのが、慣れるまで少し難しい

ようです。また、「風邪をひきます」の夕形「ひいた」も学習者によっては難しく覚えにくい人も多いようです。もし学習者から「風邪なんです」が出てきたら、教師から「じゃあ、風邪をひきます、だったら」のように、動詞でも練習できるチャンスを増やせたらいいと思います。

学習項目

Vたほうがいいです Vないほうがいいです



ここではクラスメイト同士の会話なので「~ほうがいいです」が用いられています。相手が目上の人の場合や、おすすめを聞かれたときの答えには「~ほうがいいです」は用いられないことも紹介してください。

# 言ってみよう 別冊1-1

練習1は「タ形+ほうがいいです」、練習2は「ない形+ほうがいいです」です。

ここの練習では、教師が「薬を飲みます」とキューを言い、学習者が「薬を飲んだほうがいいです」と変換していう練習もありますが、例えば、こんな練習方法もあると思います。1つは、教師が「友達が風邪をひきました。アドバイスをお願いします」と言い、学習者からアドバイスを言ってもらいます。そこで出てくるアドバイスには「薬を飲んだほうがいいです」「病院へ行ったほうがいいです」「よく寝たほうがいいです」などなど、別冊のキューになっている文がたくさん出てくると思います。教師のキューの例としては、「友達は歯が痛いです。アドバイスをお願いします」「友達は喉が痛いです。アドバイスをお願いします」などが考えられます。学習者たちは、いろいろ考えて答えてくれます。「歯の病院は日本語で何ですか」と聞いて、「歯医者」と知ったあとで、「歯医者へ行ったほうがいいですよ」「喉が痛いとき、あまり話さないほうがいいですよ」といったアドバイスがありました。(もちろん別冊の練習の中に新出語彙もあるので、それもお忘れなく!)

または、下のようなイラストを用いて、一言アドバイスをするという練習もできると思います。イラストを一枚ずつ見せて、この人たちにアドバイスをしてくださいというように言うと、学習者たちはそれぞれどんな日本語で言ったらいいかを考えて言うことができます。









# 言ってみよう 本冊1-1

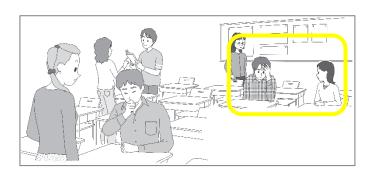
練習の中で、症状を言うところはイラストで表されています。学習者に合わせて、練習する前に、①~④の症状を日本語でどういうのかを一緒に確認をするといいと思います。②の「やけどをする」は新出語彙です。ここでは ②マークがありませんが、学習者がAだったら、どんなアドバイスをするかを聞いてみると、いろいろな答えが出てくると思います。「昨日から」や「おとといから」の「から」の意味が少しわかりにくい学習者もいるようです。わかりにくそうな人がいたら、「昨日からずっと、今も」などと少しことばを足しながら、意味の確認をするといいと思います。

## チャレンジ!

### 1-2

状況イラスト:

教室に元気がないクラスメイトが います。心配して話しかけて います。









コマイラスト:マルコさんは、体調がよくないようです。ワンさんが心配して話しかけています。マルコさんは最近、体の調子がよくないので、ワンさんに体にいいことをしているかどうかを聞いています。

学習項目の「ほうがいいです」は、すでに $\boxed{1}$   $\boxed{-1}$  でやったばかりなので、すらすら出てくるといいなと思います。

ここでは、学習項目のほかに、3枚目のコマイラストにも注目してもらいたいです。2枚目のワンさんの最後の吹き出しで、「マルコさんも毎朝果物を食べていますか」とワンさんが聞いています。それに対して、マルコさんが「いいえ、ぜんぜん食べていません」と習慣を否定形で話しています。習慣の「~ています」は11課ST1で学習していますが、このときはお互いが日々している習慣について話しているために、否定形を練習する機会がとても少なかったと思います。ここでは、習慣の否定「~ていません」を言う練習をするいい機

会だと思っていただけたらと思います。

学習項目 Vたほうがいいです Vないほうがいいです

#### 言ってみよう

## 別冊 1-2

「~ほうがいいです」に、理由の「~から」を加えて言う練習です。初級も後半になって きたので、単文だけではなく、複文で言う練習がたくさんできるといいですね。

### 言ってみよう

## 本冊 1-2

練習をするときに、【チャレンジ!】のコマイラストが活用できます。下のように、ワン さんの吹き出しを空白にするのも一つの方法です。会話の流れが目に見えることで、日本語 が口からスムーズに出ると思います。



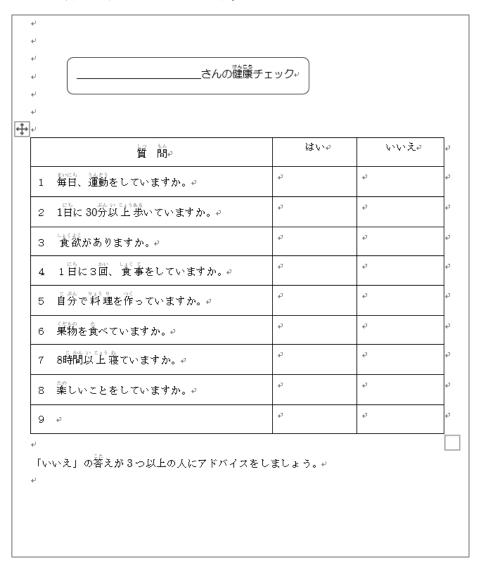




#### やってみよう

- → 具合の悪い友達に「どうしたんですか」以外に、どんな言葉をかけているか、CD を聞いたあとに聞いてみてください。1では、ワンさんが「病院へ行きましたか」「のどが 痛いとき~」、2では、パクさんがマリヤムさんに「できるだけ運動をしたほうがいいです よ」とアドバイスしているだけではなく、具体的な運動を勧めているところにも注目してく ださい。
- クラスメイトの「健康チェック」をします。質問を読んで、「はい」か「いいえ」を答 えて終わりではなく、もう少し具体的に聞くことも促してください。例えば、「毎日、運動 をしていますか」の問いに、「はい」の答えだったら、「どんな運動をしていますか」など、 どこ、どのくらい、誰と、何をなどたくさんの疑問詞を使って、相手に興味を持って質問で きるように促してください。

教科書にある健康チェックを、シートにしてみました。そうすると、実際にチェックを受けている感じがでるかなと思ったからです。最後に、自分で考えた質問を聞くように欄を設けてあります。あるとき、学習者が「たばこを吸っていますか」という質問を考えてくれたのですが、これは「いいえ」の答えがいい答えになるので、「はい」と「いいえ」の答えの数が変なことになってしまいました。授業で自由に質問を考えてもらうときに、「はい」になるほうがいい質問となるような質問を考えるように言っています。相手に簡単なアドバイスを書くようにもしてあります。



#### ST3 病院で

できること:病院で簡単に症状を話したり医者の指示を聞いたりすることがで きる。

#### チャレンジ!

状況イラスト:ダニエルさんは体調がよくないですから、病院へ行きました。 受付して診察室で医者と話して、薬局で薬の飲み方について説明を聞いています。



#### 1 - 1



コマイラスト:ダニエルさんは、初めてこの病院へ来ました。受付の人と話しています。

受付の人の2つ目の吹き出し「保険証を出す」はここでの初出の語彙です。【チャレンジ!】の際、保険証を指しながら、教師は出す動作をしながら「保険証を出します」というように紹介していったらいいと思います。9課 ST3 で順次動作を表す「Vて、V て、V ます」を練習したので、ここで「保険証を出して、待ちます」と言う学習者がいると思います。CDを聞くとき、「V てから、 $\sim$ 」に注目をしてもらいたいので、教師はCDを聞く前に、一言、「保険証を出しません。待ちます。大丈夫ですか」などのように、押さえてから、聞いてください。

学習項目 Vてから、~

## 言ってみよう 別冊1

練習2では、後件でいろいろな文が用いられている練習をします。ここでは、健康などに関するキューが掲載されていますが、これ以外の話題も使って学習者に文を作ってもらう練習ができます。例えば、日々の生活の中で「授業が終わってから、アルバイトに行きます」「化粧をしてから、学校に行きます」「家へ帰ってから、国の家族とLINEで話します」などなど、いろいろな文が出てくると思います。

# 言ってみよう 本冊1 - 1

ST3の「できること」は「病院で簡単に症状を話したり医者の指示を聞いたりすることができる」です。【チャレンジ】では、受付のシーンで学習項目の「~てから、~」が出てきますが、【言ってみよう】では、受付だけなく診察室や薬局のシーンも出てきます。イラストを見て場面を共有しながら進めていくと、病院へ行ってからの会話の流れ全体が意識できると思います。②は「ここに名前を書いてから、保険証を出してください」ですが、ここの助詞の「に」は注意が必要です。

#### こんなふうに

イラストを見てペアでの会話練習が終わってから発表をしたあとで、今度は、ペアの人が 言った指示はどのイラストかを聞いた人が当てる練習もしてみました。ここでは、医者の指 示の中に「~てから」が入っているので、特に聞いてわかるということも大切かと思います。

#### チャレンジ!

#### |1|-2





コマイラスト: 診察室で、医者がダニエルさんに質問をしています。ダニエルさんは自分の 症状を説明しています。

教師が吹き出しを指さして発話を促したとき、医者の「?」を見て、学習者から「どうしたんですか」と出てくることがよくあります。ST1,2で、友達や教師が病気の人に対して、心配している気持ちから「どうしたんですか」と聞く練習をしているので、ここでも「どうしたんですか」と言うのかと間違えてしまうようです。間違えたときは、「~んです」の復習や意味の確認をするいい機会です。学習者にいろいろ問いかけながら、授業を進めてください。

ST1の「~んです」の意味は「どうしたんですか」(心配、知りたい気持ち)と「頭が

痛いんです」(理由) の2つがあると学習しています。ここで質問している人は誰か(医者)、病院へ来るのはどんな人か (患者) を問いながら、病院に来るのはどこかしら悪いところがある人ですから、医者が驚いたり心配したりして質問することはありません。そこで、医者は「どうしましたか」と発話しています。下にある教室でのやり取りをご紹介します。

T:(医者の「?」を指して)

L1:どうしたんですか。

T: うーん、ここはどこですか。

L 2:病院です。

T:そうですね。病院にはどんな人が来ますか。

L1:病気の人が来ます。

T: そうですね。じゃ、お医者さんは、病気の人が病院へ来たとき、「あれ?」「へえ!」と、 心配したり、びっくりしたりしますか。

L1: ああ、そうですね。

L2:びっくりしません。医者ですから。

T:そうですね。「~んです」の意味は…?友達が病気のとき、何と言いますか。

L1: どうしたんですか。

**T** : このときの気持ちは?

L2:心配です。知りたい知りたい、気持ちです。

T:そうですね。「心配」「知りたい」気持ちのとき使いますね。Aさんが「どうしたんですか」と聞いたとき、この質問に、Bさんが「頭が痛いんです」と言いますね。この「~んです」は?

L1:~から

L2:理由。

T:そうですね!「~んです」は、①心配、知りたい知りたい気持ちと②理由「~ですから」ですね。

お医者さんは?「どうしたんですか」と言いますか。言いません。じゃ…、どう言いますか。

L:どうした…どうしましたか?

T:そうです!

学習項目 Vてから、~

# 言ってみよう 本冊1-2

ここでは3つのキューだけですが、他にも「ご飯を食べてから、歯が痛くなりました」「走ってから、足が痛くなりました」などキューを増やして練習するといいですね。③の「コンタクトレンズ」のことを、よく「コンタクト」と言うこともあるので、紹介してもいいと思

います。

## チャレンジ!

### 2 - 1





コマイラスト: ダニエルさんの症状を聞いた医者は、薬を飲んだかどうか、いつ飲んだかを聞いています。

チャレンジでダニエルさんが何と言っているか学習者に発話を促したとき、「薬を飲んでから、ご飯を食べました」が出てくると思います。学習者がこのようにチャレンジできたら、すぐに CD を聞くのではなく、医者の質問に注目してもらってください。医者が「薬を飲みました」と聞いているので、ダニエルさんの答えとしては「いつ、薬を飲みました」というように「薬を飲んだのがいつか」が大事なのだということに注目するように促してください。

学習項目 Vる前に、~

# 言ってみよう 別冊2

ここの別冊でも「~てから」と同じように、練習 1 はイラストで、練習 2 は後件にいろいろな表現が使われるということを知ってもらうために、文字でキューが出ています。練習 1 と練習 2 はいずれも動詞に接続する「前に」の練習です。練習 3 では、「名詞+の前に」「(時間)前に」の練習です。⑧は「食事の 30 分前に」となることに注意が必要です。

言ってみよう 本冊2-1

## チャレンジ!

#### 2 - 2

状況イラスト:薬局で薬剤師の説明を聞いています。





コマイラスト:ダニエルさんは薬局で薬の飲み方について薬剤師さんから話を聞いています。

学習者にチャレンジしてもらうときに、薬剤師の吹き出しの左上のイラストをさしながら、「この薬は…」と教師が促したり、次に吹き出しの右下のイラストをさしながら、「この薬は…」と教師が促したりすると、「食べる前に」と「食べてから」がスムーズに引き出せると思います。

学習項目 Vる前に、~

# 言ってみよう 本冊2 - 2

③の「食事・30分」では、「食事の30分前に」となることに注意が必要です。

#### やってみよう

- CDを聞く前に、1のナタポンさんと2のマリヤムさんを見て、どんな症状か、病院へ行ったとき、医者に何と言ったらいいかを教室で考えてみてください。CDの内容が全部間き取れるように聞かなくても大丈夫です。CDをまず聞いてから、(1)の質問を見て、それから、(2)の質問を考えるという感じで進めていったらいいと思います。
- 絵を見て、何と言ったらいいか、セリフを考えて話します。医者、患者、薬剤師になり きって、台詞を言ってみましょう。イラストをカードにして渡して、イラストを自分たちで 並び替えてから話してもらうと考える楽しさが増えていいと思います。

学習者のレベルもいろいろあるので、そのときにあった方法で練習を進めていったらいいと思います。あるとき担当したクラスでの学習者は、自分たちでセリフを考えるのが苦手だったので、医者の台詞は全部示しました。自分たちが患者になって病院に行ったとき、医者に何というかを考える練習をしました。



医者:どうしましたか。 私 : 医者:そうですか。



医者:いつから痛いですか。 私: 医者:そうですか。 お昼、何を食べましたか。 私: 医者:ああ。

#### できる!

この課の行動目標は、「体調について友達や周りの人と簡単に話すことができる。また、 病院で簡単なやりとりをすることができる」です。

病気になったときのロールプレイをします。

ここに【できる!】の実践例をいくつかご紹介します。

- ・病気になったときのロールプレイをし、発表をする。
- ・道具(聴診器や処方箋の袋、おもちゃの体温計など)を使ってお芝居をする。
- ・グループ (4~5人) で、12 課に登場した人「病気の人」(主人公)、「病気の人の友達」「学校の先生」「アルバイト先の先輩」「受付の人」「医者」「薬剤師」など) になりきって、ロールプレイをする。(その際、役割が分かるように役割名を書いたカードを胸に貼って、ロールプレイをする)
- ・「病院へ行く」シナリオを書いて、それを覚えて演じる。
- ・役割カードを用いて、ロールプレイをする。

患者のカード

医者のカード



#### totk **質問**。

- □ 熱がありますか。→何度ですか。。
- □ 咳が出ますか。
- □ 寒いですか。。
- □ のどが痛いですか。。
- □ 食欲がありますか。

4

3つよりたくさん」があるとき、風邪。

#### 態者に話してください。

- ・よく寝てください。』
- 薬を一日に3回飲んでください。。
- ・食事をきちんとしてください。。
- やわらかい物を食べてください。。
- 人が多いところへ行かないでください。
- お酒を飲まないでください。。

ロールプレイをしやすくするために、各STの状況イラストをホワイトボードに貼っておくことをおすすめします。貼ってあることで、全体の流れを思い出せるので、わかりやすくなります。

また、進度がゆっくりなクラスの場合、ロールプレイが苦手な学習者が多い場合は、「もう一度聞こう」を聞いて、一連の会話がどんな流れになっているか、どんなことを言っているかを確認してから、やるのもおすすめです。それぞれのクラスに合った方法でできたらと思います。

#### 話読聞書

「体にいいこと」について話します。国ではこのことにあまり意識していなくても、留学生活の中では、どこかで意識していると思います。中には日本での留学生活が、親と離れて、初めての一人暮らしだという学習者もいると思います。そんな生活の中で、自分で健康に気を付けて生活しなければならないと思うようになるようです。将来の夢のためにしっかり勉強するためにも健康に注意して生活してほしいなと思っています。もし、健康のことにあまり気を付けていない人がいたら、この話読聞書をきっかけに少しでも、自分の健康のために日々の食生活や生活リズムについて考えてもらえたらと思っています。

教科書の右にある吹き出しの内容を教室全体に問いかけてみましょう。何か答えが返ってくると思います。そこから、どんなことを聞いてみたいか、質問を考えて話を聞いていきましょう。また、学習者の「体にいいこと」を聞くだけではなく、教師の「体にいいこと」も紹介してください。学習者にとって「へえ~」と思えることがあると思います。話したあとは、「他の人の話も読んでみましょう」として、「書く」活動につなげられます。自分の話が他の人の役に立つとなると、書く動機付けにもなります。